

## 式 辞

穏やかな日差しが降り注ぐこの春の良き日に、本校に入学された新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員一同大変楽しみに待っていました。

これからの三年間で、心も体も大きく成長してほしいと思います。

皆さんにこの体育館で話をするのは、入学説明会の時以来です。

入学説明会の時に、入学までにできるようになりましょうと話したことを覚えていますか。それは、小学校を卒業して、中学校に入学するまでに身につけてほしいこととして、起こされる前に自分で起きましょうと話しました。思い出しましたか。これは、自分のことを自分でする人になってほしいという思いで、まずは、自分で起きられるようになってほしいと思ったからです。今日は、お父さんやお母さんに起こされなくても、自分で起きて身支度できましたか。小学生ではありません。中学生ですから、自分のことは自分でできるようになりましょう。

今日から始まる中学校生活 3 年間で、みなさんはとても成長します。体も大きくなりますが、それ以上に心の成長がものすごい勢いで進んでいきます。そんな成長期の皆さんに、意識して取り組んでほしいことが一つあります。

それは、どんどん本を読んでほしいということです。

どんな本でも構いません。

とにかく本を読んでください。

ためになる本とか、真面目な本、難しい本など選ばなくていいです。

興味ある本をどんどん読んでください。

本を読むことは、学習の基礎基本です。中学生の時に、読書習慣を身につけると、読書習慣がない人に比べて将来の成長が大きく違います。

それと、読書をしっかりすることで、想像力が大きく伸びます。

想像力を身につけることで、相手の気持ちを慮る人になることができます。

皆が想像力をしっかりと身につけることができれば、人の痛みを想像できて相手のことを思いやることができるでしょう。

いよいよ中学校生活が始まる皆さんに、広い視野で世界を見渡せる人になってほしい願いを込めて、次の詩を贈ります。詩に出てくる景色を想像して聞いてください。

「夕焼け」

高田敏子

夕焼けは

ばら色

世界が平和なら

どこの国から見ても  
どこの町から見ても  
夕焼けは  
ばら色

夕焼けが  
火の色に  
血の色に  
見えることなど  
ありませんように。

詩を聴いて、どのようなことを思い浮かべましたか。

世界が平和なら、夕焼けはばら色に見えます。

しかし、今、世界の中には夕焼けが火の色に、血の色に見えてしまう国があります。

今世界で起きていること、世界の国々のこと、自分たちの暮らしのこと、みなさんの若くてみずみずしい感性でしっかりと考えて、世界の平和について思いをはせてほしいと思います。

もう一つ、紹介します。

「平和」 谷川俊太郎

平和  
それは空気のように  
あたりまえなものだ  
それを願う必要はない  
ただそれを呼吸していればいい

谷川俊太郎さんの詩はそのあとも続きますが、初めだけ紹介しました。

平和は願う必要もないくらい当たり前にあるもので、願わなければいけない状態の時は既に、平和ではない状態だと言っています。

今、世界中が、戦争が終わり平和になることを願っています。

世界を見渡し、想像し、自分なりに考える広い視野と深い思慮を持つ人になってほしいと思います。

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。本日入学した生徒たちの義務教育最終の三年間を担うという大きな責務を持ち、自分の道を、切り開いて歩いていくための基盤を、一人一人の子どもたちが身につけることができるよう、教職員一丸となって、頑張っていく所存です。

保護者の皆さま方におかれましても、本校教育推進のため、何かとご支援を、願うことも、あるかと存じますが、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、本日ご臨席賜りました千早赤阪村長南本様、教育長栗山様をはじめ、ご来賓の皆さま方、誠にありがとうございます。

高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

今後とも本村立中学校への変わらぬご支援をお願い申し上げます。

以上をもちまして 学校長式辞といたします。

令和四年 四月六日

千早赤阪村立中学校長 近藤 和浩